



日本一人口の多い村 よみたんそん

69号

2017年3月
定例議会

平成29年3月末現在
(人口41,283人)

議会だより



タイトル
“議”の書き順に
気を付けてがんばっ
て書きました

がねこともはる
題字：我如古朝陽
(喜名小学校4年)

ワクワク! どきどき! 一年生!!

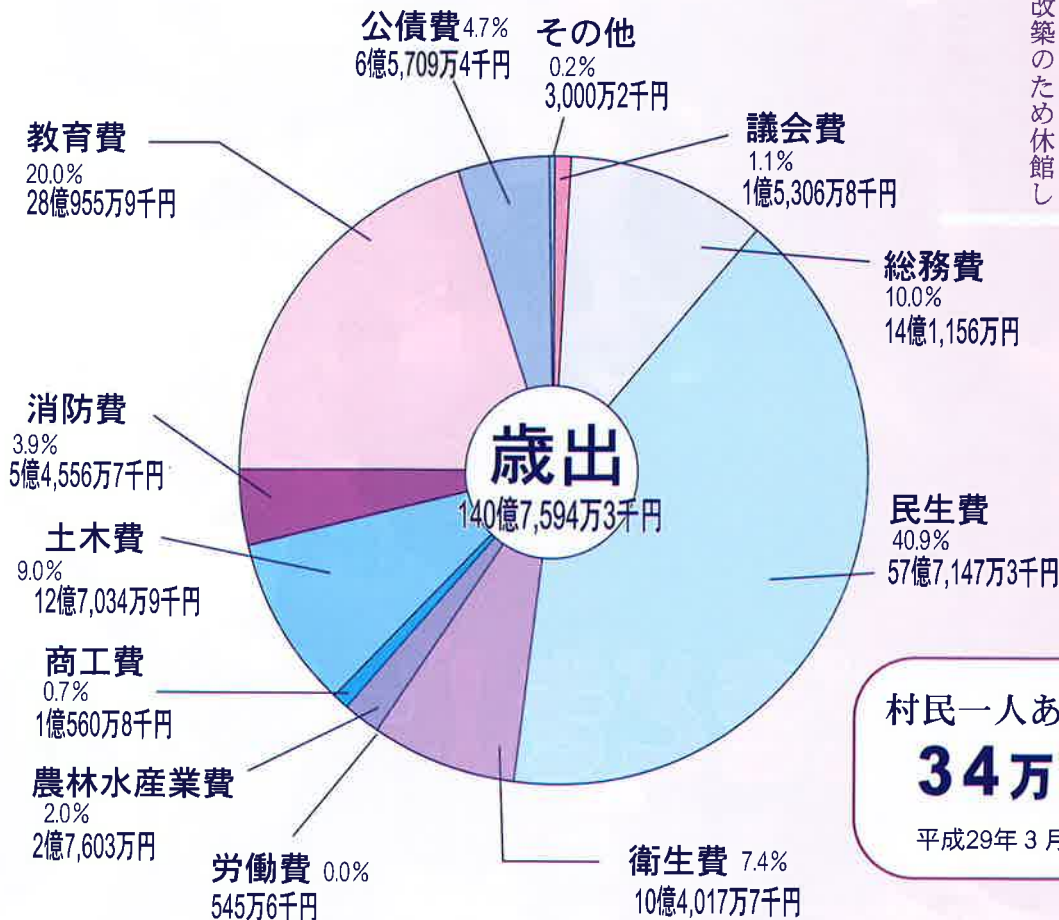
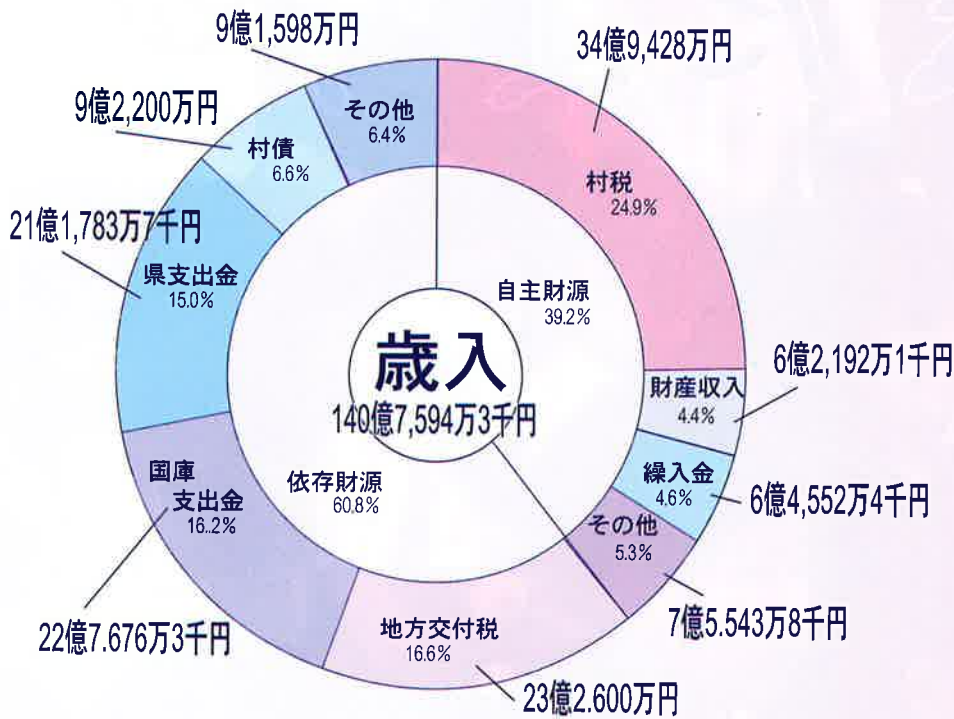
主な目次

◎一般質問..... P6~17

2017年(平成29年6月発行)

億7,594万3千円

対前年度比1.2%減額



平成29年度読谷村一般会計予算が、3月定例議会において認定されました。一般会計の歳入歳出予算の総額は140億7,594万3千円となり、対前年度比1億784万8千円(1.2%)の減額になっています。

歳入予算における自主財源と依存財源の割合について、自主財源は55億1,716万3千円で39.2%、依存財源は85億7,878万4千円60.8%となっています。自主財源は繰入金等の減額により、前年度に比べ2,891万4千円(0.5%)の減、依存財源も地方交付税、国庫支出金等の減により、前年度に比べ1億4,899万4千円(1.7%)の減になっています。

なお、平成28年度に引き続き29年度中も歴史民俗資料館と美術館は改築のため休館しております。

村民一人あたりの支出額

34万962円

平成29年3月末人口 41,283人

平成29年度 一般会計予算

140

特別会計予算認定

※少数点第2位四捨五入

(単位：千円、%)

| |
|---|
| <p>診療所特別会計 2億6,505万5千円 前年度比較 (%) 8.6増</p> |
| <p>国民健康保険特別会計 64億6,981万5千円 前年度比 (%) 3.4減</p> |
| <p>後期高齢者医療特別会計 3億8,131万7千円 前年度比較 (%) 2増</p> |
| <p>下水道事業特別会計 4億4,039万9千円 前年度比較 (%) 5.5減</p> |
| <p>水道事業会計 11億572万5千円 前年度比較 (%) 1.4減</p> |
| <p>合 計</p> |
| <p>86億6,231万1千円 前年度比較 (%) 1減</p> |

| 区 分 | | 年 度 | 平成29年度 | |
|---------|-----------------------------------|---------|------------|-------|
| | | | 予算額 | 構成比 |
| 自主財源 | 村 税 | | 3,494,280 | 24.9 |
| | 分 担 金 及 び 負 担 金 | | 174,764 | 1.2 |
| | 使 用 料 及 び 手 数 料 | | 281,361 | 2.0 |
| | 財 産 収 入 | | 621,921 | 4.4 |
| | 寄 附 金 | | 39,800 | 0.3 |
| | 繰 入 金 | | 645,524 | 4.6 |
| | 繰 越 金 | | 56,178 | 0.4 |
| | 諸 収 入 | | 203,335 | 1.4 |
| 小 計 | | | 5,517,163 | 39.2 |
| 依存財源 | 地 方 譲 与 税 | | 69,834 | 0.5 |
| | 利 子 割 交 付 金 | | 2,005 | - |
| | 配 当 割 交 付 金 | | 4,935 | - |
| | 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 | | 3,896 | - |
| | 地 方 消 費 税 交 付 金 | | 473,687 | 3.4 |
| | ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金 | | 16,100 | 0.1 |
| | 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | | 14,425 | 0.1 |
| | 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金 | | 77,099 | 0.5 |
| | 施 設 等 所 在 市 町 村 調 整 交 付 金 | | 238,702 | 1.7 |
| | 地 方 特 例 交 付 金 | | 11,797 | 0.1 |
| | 地 方 交 付 税 | | 2,326,000 | 16.6 |
| | 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | | 3,500 | - |
| | 国 庫 支 出 金 | | 2,276,763 | 16.2 |
| | 県 支 出 金 | | 2,117,837 | 15.0 |
| 村 債 | | 922,200 | 6.6 | |
| 小 計 | | | 8,558,780 | 60.8 |
| 歳 入 合 計 | | | 14,075,943 | 100.0 |

自主財源

村が自主的に収納することができる財源。財産収入、固定資産税、村民税など。

依存財源

国や県から割り当てられる補助金や交付金。

意見書・抗議決議

住宅防音事業問題の解決に向けての意見書

第457回

可決

- 1、嘉手納飛行場周辺における住宅防音工事について、平成29年度予算において十分に措置すること。
- 2、コンター見直し作業については、F-35戦闘機や外来機の影響も考慮し、さらには基地周辺市町村及び村民の意見も踏まえ、住宅防音工事対象区に更なる配慮に努めること。
- 3、住宅防音工事の対象となる住宅について、区域指定告示後に建築された住宅も対象とすること。
- 4、75W区域内の建具復旧工事を実施すること。

平成29年2月13日

沖縄県読谷村議会

米軍普天間飛行場所属のCH53大型輸送ヘリコプターのつり下げ訓練に対する意見書・抗議決議

第458回

可決

- 1、CH53大型輸送機ヘリコプターをはじめ米軍機による村内上空におけるつり下げ訓練は直ちに中止すること
- 2、米陸軍トリイ通信施設内の管理着陸帯における戦闘訓練を中止すること。

平成29年3月22日

沖縄県読谷村議会

嘉手納基地周辺地域における騒音コンターの改定作業の中止等を求める意見書

第458回

可決

- 1、嘉手納周辺地域における騒音コンターの改定作業を中止すること。
- 2、米軍機の騒音から住民の健康、睡眠、生活を保護することを目的とした、騒音及び被害実態調査を実施すること。
- 3、環境省の「航空機騒音に係る環境基準について」を見直すこと。

平成29年3月28日

沖縄県読谷村議会

平成29年度の取り組み



大湾東地区



読谷村歴史民俗資料館整備事業



パークゴルフ場建設予定地（地域振興センターより撮影）



振興センター内にオープンしたテナントブース
（まーさむん小路）



第二給食調理場整備事業

Q 村政を問う!! 一般質問



長濱 宗則

ふるさと納税の現状は

問 平成28年度末の目的別寄付金額と件数は
答 平成29年2月末時点で、寄付金総額は3千696万2千円、合計件数1,333件

問 ふるさと納税の配分率は
答 委託料が48%以内、クレジット決済分が1%、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載手数料が1%、委託料の中に30%以内の返礼品委託料30%以内が含まれている。

再編交付金、新年度は?

問 現在の基金積立額と平成29年度の交付額の予定は
答 平成28年度末で、845万2,000円、29年度は4月中旬に

交付決定の通知がある

問 大木、渡具知、楚辺自治会からの要望のある事業と金額は
答 大木自治会が防水工事、太陽光発電等で約260万、渡具知自治会が防水工事、防音工事、太陽光発電等で約630万、楚辺自治会が防災システム整備、監視カメラ等で約890万となっている。

問 交付額予定4億8,000万の配分は
答 3自治会に1億8,000万を予定している。

大木・大湾地区跡地利用基本調査事業から

問 地権者の意向調査（アンケート）の結果は
答 「自分又は家族で使いたい」が最も多く利用用途として、「一般低層住宅」高級住宅」「商業施設」等の回答があった。

問 今後の進行計画は
答 平成29年度は、区画整

備事業調査を予定しており、組合設立の認可に向けて取り組む。

読谷村の病児・病後保育事業

問 平成26年度より実施しており平成28年度の利用者延べ105人、村負担50万7,500円となる見込み。事業は読谷村、嘉手納町、北谷町、3町村共同で行っている。

問 読谷村診療所で病児・病後児一時預かりが出来ないか
答 地域の実情にあつた診療施設の運営の計画を、平成29年度に策定を検討する。

長田川自然保護、保全から

問 自然保護として地区指定できないか
答 沖縄県と調整したいと考えている。

歩いて登校運動を!!

問 歩いて登校運動を読谷村でも取り組むべきでは
答 村内各小中学校では、徒歩通学の推進に取り組んでいる。学力向上推進協議会の家庭部会の取り組み内容の中に、基本的習慣の確立として「てくてく登校」を設定している。



歩いて登校をしよう!



上地 榮

鳳バスの一年間の平均乗客数は約2万1千人!

問 平成21年度から27年度までの総収入額、総支出額、乗客数について問う
答 総収入額は1億6,177万3,916円、乗客数は14万5,436人となっている。

問 鳳バスの今後について
答 鳳バスは交通弱者にとって大切な移動手段となっており、今後も村民の皆さまに活用されるよう検討する。

平成26年度から始まった行政区設置により行政サービスは向上している。

問 行政サービスの向上について具体的に伺う
答 自治会に加入、未加入に関係なく広報誌などは全世帯に配布されるようにな

問 自治会への加入率の現状と対策は
答 加入率は平成26年度が53.8%に対し、平成28年度は50.1%と減っている。対象として、今後は村民全体に向けてホームページや広報等を活用した周知ができないか検討する。

読谷飛行場における旧地主への所有権回復については、現地課題として取り組む。

問 農業生産法人への貸し付けの進捗状況は
答 当該地区の換地が平成29年度に終了し、換地後は、土地の面積が確定するので平成30年度から貸し付けを予定している。

問 実施計画が発行されてから12年度が経過しており、生産法人から旧地主への払い下げの実施計画が必要かと思うが、見解を求めます
答 改めて実施計画の策定は考えてなく、現在組織化されている農地所有適格法人に旧地主関係者が参加す



歴史民俗資料館の建築現場

ることが急務と考える。

非正規職員の待遇改善は

答 嘱託職員については、平成28年度より産前産後休暇、育児時間の取得や病休の付与日数を増やしている。臨時職員については平成29年度より保育士、幼稚園教諭などの日額のアップを予定している。

ティアスタッフがいて説明案内をしていたが、本館でもボランティアスタッフが考えているか

答 平成30年度オープンに向け、ボランティアのあり方や活用の方法等について調査研究する。

国保財政において、財源の確保や医療費の抑制とあるが具体的取り組みは

歴史民俗資料館のリニューアルに向けた取り組みについて

問 広島県呉市の大和ミュージアムでは98人のボランティア

答 窓口での納付相談、臨戸訪問、電話催告及び財産調査等を行い滞納処分にも取り組んでいる。また、医療費抑制のためのジェネリック医薬品の利用促進、レセプト点検員によるチェック体制を整備し適正な保険給付に努めている。

答 窓口での納付相談、臨戸訪問、電話催告及び財産調査等を行い滞納処分にも取り組んでいる。また、医療費抑制のためのジェネリック医薬品の利用促進、レセプト点検員によるチェック体制を整備し適正な保険給付に努めている。

問 第2次大戦の結果、前期高齢者の減少による赤字補填策としての特別処置の運動の成果は

答 要請行動の成果は、制度とは別に国の調整交付金で、本村でも1億円余りの効果は出ている。

問 観光誘客の取り組みとして、JTBや観光バス会社などとの提携を積極的に展開する考えはないか

答 村観光協会と一体となつて、可能な範囲内で対応



仲宗根盛良

2017年度村長施政方針から

問 第5次読谷村総合計画の策定スケジュールを定める

答 第4次総合計画の実績・課題等を整理し、村民や有識者から策定委員会を設置して議会議決も含めて進めて参ります。

問 事務事業評価制度の導入に向け、その後の取り組みと問題点は何か

答 当初は試験的に実施し、本格実施は指標の設定や膨大な作業量が発生する為、調査・検討中である。

問 親子や孫との記念植樹の奨励を求める。

問 旧読谷飛行場跡地の口

や連携を行っている。

騒音測定器の増設はできないか

問 村、県、国が設置した場所はどこか

答 村は役場庁舎の屋上、県が古中学校舎の屋上、国が座喜味地内の民家の屋上、合計3ヶ所です。

問 村が設置した騒音測定器の効果と評価を伺う

答 米軍機から派生する正確な測定ができること。県の測定本部とオンライン化により多方面から検証することができるとのこと。

問 各小学校地域に設置すべきと思うがどうか

答 設置に係る費用が70万円以上も要することから、総合的に判断していきたい。

問 旧読谷飛行場跡地の口

ードパーク公園予定地に計画できないか

答 土壌などに問題もありますが、ロードパークの計画に沿うよう検討したい。

花壇登録制度を活用した花いっぱい運動の方向性

問 いつ頃から活用され、登録者数は個人と団体で何名か

答 平成4年より始まり、個人80人と64団体が活動中。

問 緑化推進委員会に減免された水道料と金額を伺う

答 平成15年から減免され、平成27年度が31ヶ所51ト88万円余を減免。

問 花いっぱい運動の評価とこれからの新展開を伺う

答 内外からも高い評価があり、緑化コンクール等であり、自治会や婦人会、団体が表彰され村づくりに大きく寄与している。今後も景観づくりへの支援を継続する。

問 旧読谷飛行場跡地の口



花壇登録制度を活用した花いっぱい運動の光景

村議会からの政策提起事項の再確認

問 「村内老人クラブの使用するゲートボール場の水道料金見直しを求める」件に関し、「官公署用」から「一般用」に変更すべきことについて検討の結果を求める

答 村内各単位クラブが各地域での活動を評価しつつ、多角的視点から料金の体系を検討して参ります。



新垣 修幸

問 イモによる「国際交流を図るため東アジア唐芋友好ワークショップの開催に向け情報収集等に取り組むとある

答 今後本村でも開催に向けてこれまで開催されてきた取り組み実績や17年度開催予定地韓国の情報を収集していく。

問 本村でも開催したい考えか

答 今年度は鹿児島県指宿市平成30年度については中国、読谷村としては平成31年度の開催に向けて情報収集をしていく。

※ 国際交流により紅イモ振興に繋がるよう頑張っ頂きたい。

問 関係団体と連携し六次産業化及び医福食農連携を推進するとあるその内容を伺う

答 新規事業として「我がシマ一品支援事業を創設し、JAと連携して地域での六次産業化に取り組む医福食農連携は、女性の家の機能強化を図ることを目的にケータリングとカット野菜の機能を持たせて施設へのリニューアルを予定、規格外や余剰になった農産物の換金率を高め通年を通した農産物の供給を目指す。

中日ドラゴンズ激励牛一頭丸焼パーティーについて

問 長年続いて来た催しでありましたが、今回変更された理由を伺う

答 平成13年に始まり村民賛同のもと約350名規模で開催された。この時期に世界

的に流行した狂牛病による牛肉の安全性が問われ牛肉消費の減少や価格の低迷により村内の生産農家への所得の影響も懸念されたことから中日ドラゴンズ交流会と県産牛の消費拡大をかねて開催、昨年の第15回の開催を節目に国内の狂牛病対策も講じられ信頼も回復し本来の目的を達成したこと

から運営見直しが検討され、円滑な運営を行うため読谷村スポーツコンベンション受入協力会を中心とする交流とした。

問 交流を深めるイベントとしては他市町村に類のない催しだと思ふ。老若問わず村民が楽しみにしていた交流会、復活して頂きたい。

答 去年の実績からしてプロ、アマ含めて十五チーム300名位アスリートが読谷に来ていてスポーツコンベンション強化を求めて対応している。そういった意味では一つの節目。村民交流は別の角度から考えていけたらと思う。

山芋スーブとか農業関係で

もいろんな盛り上がりがあるんで、そういった声が出て来た時には皆で検討して行きたい。



盛況であった「中日ドラゴンズ激励牛一頭パーティ」



比嘉 幸雄

安全・安心な村づくりより

問 今年、2月19日午後1時半頃喜名の国道58号線で、Uターンした軽乗用車にUターン先の車線を走ってきたオートバイ2台が相次いで追突し、オートバイの運転手2人が亡くなった。この国道58号線喜名地区の交通安全対策について伺う

答 中央分離帯の開閉部を閉鎖する事が事故の発生防止になると確認したが、近隣から開閉部閉鎖の同意を得られない。

問 平成26年12月にも、同じような事故が起こっている。どういう安全対策が話し合われたか伺う

答 平成26年の事故時も、開閉部の閉鎖という話があった。

問 この根本的な原因である中央分離帯の開閉部の同意を得られないのは喜名区ではない

答 村民会議のである。

答 喜名区は、同意を得ている。

問 自動速度違反取締装置がある。中央分離帯の開閉部を閉鎖出来なければ、この装置を設置する以外にないのでは

答 提案を受けまして、調査検討していく。

村広報について

問 村広報誌の他に、どのようなチラシ等が配布されているか

答 議会だより、各講座案内やイベント案内、広域連合広報等がある。

問 1月、2月の広報の中に「辺野古の基地建設を許すな」というチラシが入っていた。読谷村の情報網を利用してこのチラシを入れているのか伺う

答 村民会議の配布物となっており特段問題ない。

問 偏った政治思想のこのチラシは「自分たちでポスティングするのが普通では」と思っている。読谷村の配布網は、村民のものか、村民会議のか

答 村民会議のである。

平成29年施政方針より

問 地域活動をする自治会に対しての、地域づくり支援を伺う

答 地域振興交付金・字別構想推進事業・ノーベル村民基金・コミュニティ助成事業等。

問 喜名区では地域活性化のイベントとして「護佐丸」上演や、音楽祭を開催している。

問 イベントは観客集めがともも肝心で大湾交差点の電光掲示板でそれらの広報を出さないか

答 情報があれば、どんどん載せられるかと思っている。

電線地中化について

問 総合事務局への村からの要望路線・要望場所は

答 村道中央残波線・大湾東土地区画整理地内など合計10路線となっている。

問 合意済の路線、場所は

答 大湾東土地区画整理地内「村道比謝大湾線」「村道大湾東1号線」「村道大湾東2号線」の3路線。

問 どの辺まで進んでいるか

答 サンエー周りは整備済み。

問 1キロ当たりの工事費は

答 メートル単価が30万円キロ単価は3億円

問 国道側や奥の住宅街は

どうなるか

答 国道側は考えていない、住宅地は検討していきたい。

問 景観地区の電線地中化

の進捗状況は

答 合意に至っていない。

問 電線地中化は近年、全国的に注目されている。大

木区画整理地区に関してはどうか

答 10路線の中に村道大木喜名線で大木区画整理地内という事で要望している。



地域イベントの広報が期待される電光掲示板



山城 正輝

「監視社会」「戦争社会」を狙う「共謀罪」↓決して許されない。絶対に通してはならない。

問 憲法9条を正門に掲げ

ている村政としては、反対すべきではないか

答 日弁連も反対。人権を損なう危惧あり。

ダイオキシン抜本的解決 ↓汚染土壌処理！

問 ダイオキシン汚染の責任と抜本的解決はどうするか



1945年6月23日米軍撮影の読谷補助飛行場○が汚染箇所と思われる。

答 当時は、米軍提供施設であつたから国による汚染除去が妥当。抜本策は、引き続き国あたりと調整。このまま終らしてはいけない。ねばり強く村の主張をしていく。

民間病院誘致↓知事へ申請中、実現に向けて取り組む！

問 県の医療構想と病院誘致は、どう進んでいるか

答 県構想では、急性期は減少するが回復期、中部は増やす方向。29年度審議し、30年スタートめざしている。村としては、法人誘致に力を入れる。総合的な医療と福祉、介護の連携は、今後

旧飛行場跡南側第二工区 ↓6次産業、市民農園等の計画へ！

問 第二工区の可能性調査と事業主体、そして旧地主への所有権回復と関連をどう考えているか

答 市民農園、暫定的利用としてのサトウキビ、牧草そして6次産業化など3テームを考えている。主体は、農地所有適格法人、旧地主会、NPOで、今後議論を深める。所有権回復との関連は、村が農地法人に貸し付け、将来売り渡す事業の一環と考

検討していく。

認知症カフェの設置↓村も進めていきたい！

問 認知症の人は何名か。

答 認知症高齢者は、949人。村内7市町村で22カ所設置。村としても設置に向けて進めていきたい。

飼いのいない猫(地域猫)等対策↓活動奨励、指導、助言、手術議論する。

問 地域猫の実態、県の対策マニュアルはどうなっているか。村の抜本的取り組みはどうか

答 正確な数は把握していない。県は、地域猫活動を奨励している。村としては、活動を実行できる団体を指導、助言、育成し避妊去勢手術について議論していく。

読谷の「蝶」制定↓今は必要ない。運動盛り上げてほしい！

問 自然保護、小動物との共生、住み良い環境づくりの観点から「県の蝶」制定が高まる中、村として「村の魚」制定と合わせて「村の蝶」制定してはどうか

答 県内9市町村で制定。取り組みの声が聞こえてこない。現在は必要ない。

答 市民農園、暫定的利用としてのサトウキビ、牧草そして6次産業化など3テームを考えている。主体は、農地所有適格法人、旧地主会、NPOで、今後議論を深める。所有権回復との関連は、村が農地法人に貸し付け、将来売り渡す事業の一環と考



知花 徳栄

長浜返還軍用地跡の道路整備について

問 現在、住宅、アパート等が建設され、住環境の整備が図られたが、未だに村道の未整備箇所が見受けられる。長浜自治会からの要請文が提出されていると思うが、どのように考えているか

答 長浜自治会より「返還軍用地跡の道路補修と改善についての要請があり、村としては長浜返還地跡の整備について、生活基盤として必要と考えている。

問 未整備箇所（別添図）の路線は把握しているのか

答 未舗装力所の路線名は村道4号線、5号、27号、28号、29号、31号の6路線

であり、約620mの未舗装を確認している。

問 事業計画の予定はあるか

答 長浜返還地の道路整備計画については、「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の9条事業で予定しており関係機関及び関係課と調整等を行い、平成30年度から整備を進めたいと考えている。

問 総事業費の予定はいくらくらいか

答 6路線の概算で6千万円の予定。

問 当該地域は防犯灯が少ないとの意見もあるが、現状把握はしているか

答 防犯灯については、自治会や、地域の方々からの要請を受けて、優先順位の中で、予算の範囲内で設置しているが、当該場所についての、設置要望はないが、自治会長とも意見交換をして、現状把握をする。

要望 私の調査では村道未整備力所の住宅地が暗く、防犯灯の設置が必要と感じるが、是非、自治会長とも連絡を取りながら調査してほしいと思う。又、村道整備事業の中で、外灯の設置も出来ればと、期待する。



未整備の村道 (外5路線)



當間 良史

「座喜味城跡に大型駐車場を！」

問 建築中の歴史民俗資料館の駐車場では、来場が見込まれる多くの観光客に対応できないのでは

答 リニューアルオープン時の座喜味城跡公園の駐車場の容量は、公園入口に小型自動車29台、大型バス3台身障者用2台となり、季節や時間帯において十分とは言えない。今後新たな駐車場整備について検討していく。

問 今回の民俗資料館の建て替えは「ユンタンザミュージアム基本構想」を元に計画されており、その中に資料館の東側に大きな駐車場が描かれている。計画通りに大型駐車場を整備し、

その周辺にお土産店や飲食店を整備して更なる観光客誘致につなげてはどうか

答 基本計画でも謳っているとおり、駐車場整備は将来に向けても必要と考えている。

問 民俗資料館オープンに伴い入園料の話が出ているが

答 平成29年度中に決定していきたい

問 座喜味城跡公園内の木道は座喜味自治会が学事奨励会やふれあい祭り等で活用しているが滑りやすく危険であり、イベント前には座喜味の有志の皆さまの手作業でコケなどの撤去を行っている。行政として対応できないか

答 自治会で対応されていることに感謝を申し上げる。今後どのような対応ができるか検討していく。



「よみたんまつり会場に飲食スペースを！」

問 まつり会場には飲食スペースが無く衛生的にも店舗の売り上げ的にも、安心して飲食が出来るスペースがあるべきと考えるが

答 会場の商工会との意見交換で話し合っているが、スペースの問題から実施に至っていないが今後とも工夫していく。

問 よみたん祭りサブステージで行われている「ジュニアフェスタ」への支援状況を伺う

答 舞台の設置費用、音響照明、炊き出しの材料代などで36万円と職員2名の割り当てを行っている。

問 このステージからは、現在プロとして活躍されているアーティストも多く輩出されている。子供たちの未来のため更なる支援を



祭りを彩るジュニアフェスタのステージ

答 出来るだけ協力していく。

「読谷村で無農薬減農薬野菜の生産」

問 農産物認定制度GAP規格に基づいた生産を推奨してはどうか

答 生産者と協議しながら低農薬栽培の推進を図りつつ段階的に推進していく。



國吉 雅和

建設基金について

答 建設基金等の経費に必要とする「読谷村公共施設建設基金」は、残高額11億6000万円、これから予定される事業は情報センター(図書館等)と美化環境センター(炉改修等)です。また、「読谷村立学校建設基金」は、村立4小学校の建設財源で、平成28年に設置され、目標額20億円に対し、積立額は1億6000万円となっております。平成32年より活用予定。

問 処分予定の普通財産の現状と売却総額を求めると

答 遊休地となつている普通財産は、227筆60,593㎡のうち一体として処分可能な土地は、旧読谷中学校跡地で55筆30,500㎡、概算売却額が12億7000万円と中央残波線ルート用地で32筆1771㎡概算売却額が2億円。

問 建設基金等の経費に必要とする「読谷村公共施設建設基金」は、残高額11億6000万円、これから予定される事業は情報センター(図書館等)と美化環境センター(炉改修等)です。また、「読谷村立学校建設基金」は、村立4小学校の建設財源で、平成28年に設置され、目標額20億円に対し、積立額は1億6000万円となっております。平成32年より活用予定。

売却額が2億円。

提言 建設基金として積み立てる財源は、決算剰余金の一部をあてるだけでなく、公募等を含めた積極的な普通財産処分を求める。

教育長の松田平次氏に問う

問 制度改正の主な理由と制度改正後の教育委員会と教育長の関わり、また、教育の課題とその対策は

答 滋賀県大津市のいじめ問題を機に、権限と責任が不明確で、教育委員会の審議が形骸化しているなどの課題があるとのことで、一部改正に至る。教育委員との関わりは、新教育長とで構成される合議制の執行機関に変わりはしない。課題と対策は、「確かな学力の向上」だと考えている。小学校の学力は全国平均に達したが、十分とは言えない。また、中学校の学力は大きな課題があると認識している。対策として、各幼稚園、小学校を「学力向上推進校」に指定し、日常的に推進する。

問 制度改正の主な理由と制度改正後の教育委員会と教育長の関わり、また、教育の課題とその対策は

答 滋賀県大津市のいじめ問題を機に、権限と責任が不明確で、教育委員会の審議が形骸化しているなどの課題があるとのことで、一部改正に至る。教育委員との関わりは、新教育長とで構成される合議制の執行機関に変わりはしない。課題と対策は、「確かな学力の向上」だと考えている。小学校の学力は全国平均に達したが、十分とは言えない。また、中学校の学力は大きな課題があると認識している。対策として、各幼稚園、小学校を「学力向上推進校」に指定し、日常的に推進する。

そのために、各教師の授業力や指導力の向上を図るために、教師の研修会を充実させる。

村立幼稚園の昼食を給食調理場から

問 給食調理場からの配食に向け、調査業務を実施するための予算として、委託料230万円を計上。

答 瀬名波の残波岬入口から沖縄残波岬ロイヤルホテルまでを仮称「残波岬通り」とし、村、地主、通りの商業施設等で美観形成に努める団体作り。

幼稚園の昼食について、中部学校給食事務研究会(11市町村)の実施状況を問う

問 完全給食実施・・・沖繩市、嘉手納町、西原町、恩納村。預かり保育給食実

答 自走式草刈機を購入し貸し出しては

答 新年度に自走式草刈機を2台購入し、自治会へ貸し出す。

施・・・うるま市、北谷町、中城村、北中城村。未実施(ゲーティング)・・・宜野湾市、浦添市、読谷村。

美観形成団体作りを求める

問 美観形成団体作りを求める

答 提案の美観形成を検討する。

自治会公民館の和式トイレを洋式トイレへ

問 自治会公民館の和式トイレを洋式トイレへ

答 改装は財源等を踏まえ検討する。また、洋式トイレ改装希望は合計3カ所。



幼稚園児にも給食を



神谷 嘉栄

交通安全対策

問 都屋地域において、県道6号線から村道都屋〜楚辺線へ通じる縦線の道路に、車両の速度制限を促す対策はできないか

答 速度制限の標識及び停止線については、公安委員会が設置するものとなっておりまして、嘉手納警察署と意見交換を行っていく。

問 電柱に巻き付けられるような目立つ、表示板的なものは考えられないか

答 巻き付け式の看板というものはあるので、あわせて検討していく。

問 アスファルト道路上に縮模様状に滑り止め舗装を敷くことで注意喚起は促せ

ないか

答 滑り止め舗装が適しているのかも含め、関係課とも相談のもとで注意喚起を促す方法は考えていく。

スポーツコンベンションの誘致

問 スポーツコンベンションの成果を伺う

答 本村におけるスポーツコンベンションの取組は平成24年度から本格化、その時6団体だったが、今年度の受け入れは、19団体へと増加。女子7人制ラグビーにおいては、リオデジャネイロオリンピックで金メダルを獲得したオーストラリアチームを初め、5ヶ国6チームで国際大会が開催された。受け入れ事業の中で複数のチームが子ども達に開催するスポーツ教室において、プロ選手のプレーを間近で見たり、交流する機会をつくって頂いている。プロ選手から直接指導して

もらせる体験は貴重で、技術の向上だけではなく「夢」や「希望」を与えるきっかけにもなっている。

問 観光の分野から課題はあるか

答 キャンプ観戦者は徒歩でも多く、バス停から平和の森球場・陸上競技場まで交通の便が悪いのが課題。また、スポーツキャンプが冬期に集中することにより、新たなチームの受け入れが困難な状況である。



Jリーガーとプレーする子ども達

問 経済的効果の面からはいかがか

答 直接的、間接的、波及効果はあると考える。

読谷村歌の推奨

問 議会の定例会以外に歌われている事例を伺う

答 読谷まつり、成人式典、読谷村功労表彰式典がある。また、村歌の活用については、読谷村老人クラブ連合会運動会時に村旗の掲揚や防災行政無線放送を利用した「帰宅指導村内一斉放送」FMよみたん番組の「読谷村役場からのお知らせ」や「ゆんたんじゃ出番ですよ!」等で、BGMとしての活用。

問 校歌のように身近なものとして奨励できないか

答 村民の共通認識のもとに、可能な範囲で、奨励を図りたい。



新城 昭彦

村道中央残波線の交差点改良工事について

問 工事終了後の交差点の通行は可能か

答 交差点改良後の交通形態は、信号機による交通規制が難しいことから、安全対策を行い、整備前と同様の通行を考えている。

問 交差点の信号機の設置は、今回の工事と一緒に設置されるか

答 交差点改良後の信号機設置は、公安委員会から交差点の形状ができてから協議等は行うとの回答を得る。

問 今回一緒に設置は難しく平成29年度に公安委員会との調整・協議等を行う。

問 現在通行止めの村道波平1号線の中央残波線への接続は

答 村道波平1号線から中央残波線への取り付けは現道の砂利道を通り当該交差点へ接続出来るようになっていた。改良工事後に「楚辺通信所跡地地区計画」での道路整備が出来るまでの間関係者及び関係課と調整・協議等を行い、中央残波線への接続等検討したい。

問 交差点から県道6号線への接続は

答 当面の間、安全対策等を行い現道を利用して県道6号線への接続を考えている。将来的には地区計画の道路整備に併せて既設道路の道路改良等を行い、県道6号線への接続を考えている。

村道波平〜都屋線供用開始とセーラー苑の施設管理について

問 現在の波平前原〜都屋大当原線の中央残波線への通行と形態は

答 交差点は平成29年度に中央残波線の中央分離帯整備を行う予定で、整備後の波平前原〜都屋大当原は「左

折のみ」の通行となるがそれまでの間は現状のとおり通行が可能である。

問 告別式時の駐車場への出入り等混雑は考えられないか

答 告別式時の駐車場への出入り等影響が出ないよう関係者や関係機関と調整し考えたい。

問 都屋く波平線の中央残波線交差点を考えると告別式への駐車場への入口と出口の現状からも検討が必要では

答 今の形態では無理が出るかもしれませんが一度様子を見ながら、福祉課と調整をし、関係機関と協議をしたい。

問 波平く都屋線と波平前原く都屋大当原線の道路の接続が出来ないか

答 波平く都屋線と波平前原く都屋大当原線が接続出来れば地域住民の利便性等は良くなると思いますが、クリスチャンスクールの施設内を横断する道路であり、

児童生徒の安全確保など学校側のご理解・ご協力が得られるか懸念される。

平成29年度施政方針より交通安全対策として

問 今年度の学校周辺・通学路確保のカラー舗装の工事予定と予算は

答 今年度予定で予算額は、1211万円を予算提案



村道中央残波線の交差点改良工事

中学生海外ホームステイ派遣事業について



津波古菊江

問 村内2中学校の生徒を対象とした米国へのホームステイ事業の内容と成果及び次年度(H29)の事業内容を伺う

答 夏休み期間中の約3週間米国西海岸地域で一家に1人配置で日常語が英語の生活環境の中で文化、風習に触れる事で積極的な態度の育成と英語力を身につけ英語に興味を持ち進路留学を視野に入れた英語学習に対する意識の向上が見られ、今後も継続したい。

埋蔵文化財大湾アガリヌウガン遺跡について

答 教育委員会の方針は日本人の少ない所を考えており経済的な面は大事なので検討させて頂きたい。

問 文化財の概要と今後の保存、活用する方法とついて伺う

答 座喜味城より200年ほど古い時代に外来技術の影響を受けた遺跡で、グスクとの関連が考えられる。H29年度に沖縄県と連携で調査検討委員会を立ち上げ、文化財指定に向けた取り組みと保存活用について検討していく。発掘調査はH30年かH31で終了H31年度で調査資料をまとめ具体的な文化財指定に向けての事務を行い、H31年度で調査資料をまとめ具体的な文化財指定に向けての事務を行いH31くH33年をメドに申請の

望者を増やす等の検討余地はないか



大湾東地区のアガリヌウガン

スケジュールは持つてる。自治会とは年に一度は説明を行い今後とも連携して取り組んでいきたい。

会員379人、提供会員136人、利用者月23人、年間258人、利用回数月160回、年間176回、提供会員の活動人数月22人、年間258人、活動回数月160回、年間176回、病児保育6人、夜間26人、今後も現行のままで事業実施。

問 提供会員136人中、活動人数が22人についての説明と病児預かり、夜間預りの現状について伺う

答 依頼会員の子供と提供会員との相性が合わない等の調整が難しい。

地域子ども子育て支援ファミリーサポートセンターについて

問 センター登録者、サービスマン利用者数と利用回数提供会員の活動人数と活動回数病児、病後児預かりや夜間預り等の実績は

答 センター登録者の依頼

病児、病後児預かりについては、病気の回復期の預かりについては、病気の回復期の預かり、保育所での発熱で親に代わっての迎え等で預り料金は一時間700円で提供、NPO法人化については、もう少し力をつけて社団法人やNPO法人とかという体で立ち上げて移行していきたい。



山内 政徳

学習支援教室、無料塾の状況は怎么样了

問 無料塾の小学一年生から六年生、中学一年生から三年生まで各在籍数は何名か

答 一年生6名、二年生8名、三年生4名、四年生6名、五年生5名、六年生6名、中学一年生11名、中学二年生14名、中学三年生16名。

問 古堅中学校区、読谷中学校区ごとの在籍数は

答 古中校区内は小学生28名、中学生は32名、合計60名、読中校区は小学生7名、中学生は9名合計16名。

問 どのような効果が出ているか

答 PCを使った学習を行うことにより、みずから学ぶ姿勢、問題解決能力の向上。また体験活動や生活指導も行い、あいさつ、言葉遣い、片づけなどの態度面がよくなる変化も見られ、児童生徒の自信や自己肯定感を育み、学力の向上にも期待が持てる。と考える。

問 読中校区内にも作るべきではないか

答 読谷中学校区で一つ設置できるように県にも要請しており、実現できるように今後も努力していきたい。



無料塾の様子

比謝横断線の進捗状況は

答 平成29年度予備設計、30年度で概算要望、31年実施設計の予定。

嘉手納バイパス道路の状況は

答 嘉手納バイパスは読谷村古堅から嘉手納町兼久に至る延長3.2kmの道路で、事業実施機関の南部国道事務所にて問い合わせたところ、現在関係機関と調整を行っているとの事。嘉手納バイパス全体の事業進捗状況は約11%との事。

火葬場（よみたん斎苑）の利用についての村内、村外扱いについて条件はどうなっているか。特に村民が村外の老人施設に入所している場合はどうなるか

答 村内とは死亡者の住所が読谷村の住民基本台帳に

記録されている場合、域内とは死亡者が村と協定を締結した市町の住民基本台帳に記録されている場合、その他を域外と規定している。また老人施設に入所している方は、介護保険法に規定する住所特定地域特例対象施設に入所している場合は村民として申請してもらっている。

国民年金の支給要件が変わるが（年金加入期間が10年に短縮）読谷村の受給者はどれだけ増えるのか。総支給額はいくらか

答 受給資格期間短縮により読谷村では358人の方が新たに年金を受給する事になる。総支給額についてはまだ決まってない。



上地利枝子

村内通学路安全対策について

問 車道と歩道の色かえ（カラー舗装）について今後の予定を伺う

答 29年度予算では121万円で五十坪を予定している。場所については、学校関係者と話し合って決めていく



嘉手納町



読谷村

たい。

環境保全について

問 生ごみ処理対策

答 生ごみは他のごみより水分を多く含んでおり、焼却処理に多くのエネルギーがかかると言われている。生ごみを堆肥化することができれば、ごみの減量及び腐葉土としての再利用につながる。コンポストの普及に取り組んでいる。

問 古布回収後の処理方法

答 県の補助事業で三年間古布回収を行って、選別、包装を行い外国へ輸出していたが、現在は事業が終了したため古布回収は行っていないが、出来るだけ再利用を進めている。

問 廃油回収方法とリサイクル率

答 廃油の回収は、役場や

公民館に回収ボックスを設置し、回収された廃油はバイオディーゼルとして活用している。

問 むら咲むら周辺の悪臭対策として、これまで取り組んできた経緯と今後の取り組みについて伺う

答 対策として村で製造した微生物菌等を農家の協力のもと豚舎等の改良を行っているが、効果的な解決方法には至っていない。今年度はビタコーゲンという肥料を農家さんの協力を得て、豚にこの餌を食べさせて腸内環境をよくして、家畜の排泄物の臭いをもとから消すという対策を行う。

各小学校部活動について

問 指導者及び父母代表と村教育委員会との意見交換会で話し合った内容は

答 教育委員会としては、この意見交換会の開催を重要なこととして位置づけし

ていることから、教育長も一緒に参加をし、活動の悩みや困っていることなどを直接聞くことによつて、今後の連携や支援ができないかとの趣旨で話し合いが行われた。要望として出されたのが、渡慶次小学校体育館の外灯補修、古堅小学校ではナイター施設がないので暗い、製氷機の設置、バレーボール用ボールの助成等があった。今後も教育委員会として年一回はこのような形で会議をもつて、私たちが気付かなかつたところを出してもらい、気軽にお互い信頼関係が築けるよう対応していきたいと考える。



伊佐 眞武

大湾東地区に関連して

問 ①大湾アガリヌウガンの遺跡の公園化の進捗状況及び隣接する長田川沿いの整備方針はどういうものか

②国道58号を横断する歩道橋又は横断陸橋の必要性についてはどうか

③住所表記方法として「住居表示」を実施した場合、村が実施する事業はどういう事か

④学校の受け入れ体制はど

うなるのか

答 ①今年度は、指定史跡に向けて沖縄県の指導のもと遺跡調査検討委員会を立ち上げる予定。又、比謝川下流堰の撤去と長田川への可動堰の新設が見込まれている。比謝川と長田川の合流地点及び長田川がどの様な形になるのか、水量等の調査も見極め、遊歩道については環境保全とのバランスを考慮して検討を進めたい。

②全国的に撤去傾向にあるが、新設する場合、国道事務所の話では、横断者が多い、横断を完了するのに相当の時間を要する。右左折車による事故が多発する恐れがある等、設置要件があり、検討することになる。

③住所表記方法として「住居表示」を実施した場合、村が実施する事業はどういう事か

④学校の受け入れ体制はど

③区域の決定及び住居表示の方法については議会の承認が必要。その後、関係自治会との協議を踏まえ、新町名、街区割等の検討及び地番整備を行い、再度議会の承認を得る。

④古堅南小学校で最大で5クラス増えるのが上限と想定しており、古堅中学校も1年〜3年までのクラスが1クラス未満増と考えられる。受け入れ体制としては十分対応できると考える。

問 新入学生に対して、3月に支給している全国の先進事例を把握しているか

答 全国においては、新入学用品費を従来の就学援助項目と分けて、3月までに支援している事例は承知している。

要望 4月の入学前に準備金とし支給できるか、調査検討していただきたい。

先進農業集団地区について

問 農家の皆さんからトイレ設置の要望がある

答 ゆんた市場等のトイレの使用をお願いしたい。

問 時間的にもロスになる。今の県営事業にトイレの計画がなかつた理由は

答 設備・工事費用、その分は土地の売り払い価格に上乗せされるため。

問 トイレ設置の事業主体は法人側か行政側か

答 基本的には法人

要望 跡地利用実施計画は旧地主関係者への所有権回復という公的、社会的側面がある。可能な設備等、法人と協議を進めていただきたい。



保全のため公園化が望まれる長田川周辺



與那覇徳雄

パークゴルフ場について

問 事業概要を伺う
答 日本パークゴルフ協会公認基準 18ホール、最長距離30m、最長距離95m、パー66、クラブハウスと東屋2棟計画。

問 村内65歳以上高齢者の特別料金設定の考えは
答 プレイ料金、村内利用者400円、村外650円、クラブ貸し出し100円を予定、特別料金は考えてない。

問 高齢者の運動機能の向上に努めることから特別料金を設定し老人医療費の抑制に努めるべきと思うが
答 高齢者料金を今後検討する。

問 平成30年度途中での開設もあるか

答 平成29年土木、30年建築工事、早期発注が可能であれば途中オープンの考え。

読谷村地域福祉振興基金

問 寄付する村民に福祉基金の説明も行っていいか
答 運用、事業内容、寄付金先の種類を説明している。
問 基金の決算残高は
答 約550万円。

問 基金を活用したソフト事業の充実に取り組む時期ではないか
答 今後調査研究していく。
問 社会福祉協議会への寄付依頼がある場合の対応は
答 社協職員が来庁し、受領手続きを行っている。

問 交通安全対策について
問 渡慶次小学校体育館から西側約200mにカラー舗装整備が出来ないか
答 渡慶次小学校から聞き

問 取り調査、外側線現地調査。
問 大嶺商店前の通学路に横断歩道が設置できないか
答 嘉手納警察署と学校側と協議する。

問 提案した横断歩道設置箇所は陽ざしがまぶしく危険だが
答 場所について嘉手納警察署と調整する。

問 通学路のカラー舗装はどの地区を計画しているか
答 29年度は村内小学校から聞き取り後決定する。
問 村内小学校からの聞き取りに安全指導ボランティアも協議に参加させては
答 学校側と先に調整後、意見集約は検討する。

問 カラー舗装の成果は
答 視覚的効果のねらい。
問 カラー舗装が車道側に引かれている経緯と考えは
答 車道側のほうが視覚的効果が高い。



横断歩道の設置が望まれる

読谷村立診療所

問 介護予防の取り組みは
答 介護予防の普及と通いの場づくりとして各施設へ出張事業に取り組む。

問 医療体制と施設運営に
答 住宅医療の患者数の増と診療報酬の適正化、予防医療のサービスに取り組む。

問 公民館での転倒予防、認知症予防等の出前事業の計画は
答 現在、各自治会長に派遣の要望を募っている。



城間 勇

平成29年度施政方針より

問 大湾東地区、村道比謝牧原線整備事業の進捗状況について

問 大木、大湾地区の進捗状況と今後の取り組みについて
答 平成29年度は区画整理事業調査を予定、組合設立の認可に向け取り組み。

提言 新しいメニュー事業でスムーズに国庫補助事業が導入できるように鋭意頑張っていたきたい。

新有権者へ選挙パスポートの送付について

答 宅地部分の使用収益も国道沿いから順次行っており、大型店舗につきましても、平成29年7月のオープン予定。平成32年4月に開通という計画で進めている。

問 平均寿命80歳までの人生で約100回の投票機会があるといわれている。選挙パスポートは投票する度に投票所でスタンプを押し、自分の生涯投票率を記録するもので、読谷村でも若年層の低投票率を改善するため新有権者へパスポートの送付を検討しては
答 パスポート等の発行は現時点では考えていない。



商業施設が建ち並ぶ大湾東地区

野良猫の被害について

問 渡具知761番地の2村有地防風林帯と墓地周辺に20匹前後の猫が住み着いているが、墓の所有者の方々から猫の糞尿による被害の苦情がある。エサあげや捨て猫の注意喚起を促す看板の設置が必要と思いが

答 渡具知761番地2の防風林帯の付近において、猫による糞尿の被害の苦情等は過去に数件ある。無責任なエサやりを行っている方に直接注意をしたり、張り紙をして注意喚起を行った。過去に設置した張り紙が消失しており、改めて設置する。

問 飼い主のいない猫への避妊、去勢手術TNRを読谷村も検討しては

答 活動の途中で捨て猫が増加するといった事例もあることから、TNR活動は慎重に行わなければならない。

読谷村地域振興センターの名称の看板について

問 表例の名称の看板は壁側の色は白色で、看板の色は銀色と同系色のため、わかりにくいとの村民からの声がある。裏側の名称の看板は文字が小さいため、わかりにくいとの声がある。

答 看板につきましては、わかりにくいと感じる部分があると思う。指定管理者と相談し、解消していただけるよう努力検討して、親しまれるような施設の名称、愛称を積極的に検討してまいりたい。



仲眞 朝雄

問 村立幼稚園に初めてタイムレコーダーが設置されるが、その意図は？

答 所属職員の勤務状況の把握。それにはタイムレコーダーによる管理が必要。

問 その運用について

答 勤務状況を各園や教育委員会で把握し、健康管理に生かす。

問 小・中学校へ拡大する予定はあるか

答 現在のところタイムカードの導入は予定していない。

問 糖質を多く含む飲料が青少年に与える影響について

答 摂取しすぎた場合、青少年に限らず、全ての年齢の方に影響を及ぼす。肥満や糖尿病発症に関係するので日常的に糖質を含む飲料を摂取し過ぎないよう心がけるべき。

問 糖質オフ、ゼロの商品に關しても、そのような動きは健康推進課としても注視しながら青少年、村民の健康づくりを考えていきたい。

問 12月25日を「ヤマモイモの日」と制定しヤマモイモの更なる振興ができないか

答 各自治会の山芋スーブ、村大会の山芋スーブチャンピオン大会など大変もり上がっている。提案に対しては、山芋スーブチャンピオン大会実行委員会役員や各自治会山芋スーブ関係者からも意見等を聞き、検討していきたい。

問 喜名ブルースターション給油所前で2名が死亡した交通事故について、以前から危険という指摘のある分離帯はなぜ閉じられないのか

答 別の手法、例えばUターン禁止の規制、滑り止め、分離帯への注意喚起の方法等をお願いしている。

問 村内中学生の修学旅行について、①コースは ②コースの見直しは ③民泊を利用できないか

答 県教委は、中学校の基準を九州方面と定めている。コースは毎年検討会が行われPTAとの確認も行われている。

答 民泊の導入はこれまで検討されておらず意見として伺い今後の参考にする。

問 楚辺座喜味線と村民センター線と接続する読中北側三差路に信号機が必要と思われるが、見解は

答 平成29年度に村道村民センター線の道路改良工事を予定。状況を見て嘉手納警察署と信号機の必要性を協議する。



よみたん交流民泊・離村式・カチャーシーでお別れ 生徒と受け入れる民家！

平成28年度政務活動費収支報告

前期（4月～7月） 90,000円
後期（10月～3月） 90,000円

平成28年4月～平成29年3月分（月額15,000円×12ヶ月）

* 交付総額から支出総額を引いて残余がある場合は返還になります。

【政務活動費とは】 地方自治法第100条第14項・第15項及び読谷村議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の村政に関する調査研究に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

| 調査研究費 | 研修費 | 会議費 | 資料作成費 | 資料購入費 | 広報費 | 事務費 |
|--|--|---|---|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 議員が行う村の事務及び行財政に関する調査研究に要する経費（講師謝礼費、交通費、宿泊費等） | 団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に関する経費（会費、交通費、宿泊費等） | 議員が行う各種会議に要する経費（会場費、機材借り上げ費、交通費、資料印刷費等） | 議員が議会審議に必要な資料を作成するために要する経費（印刷・製本費、原稿料等） | 議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する経費 | 議員が行う議会活動及び村政に関する政策等の広報活動に要する経費 | 議員が行う調査研究のための事務遂行に必要な経費（事務用品費、通信費等） |

平成28年度政務活動費収支報告

| 氏名 | 使 途 | | | | | | | | 交付総額 | 残 額 (返還額) |
|---------|-----------|---------|-----|-------|--------|--------|--------|-----------|-----------|--------------|
| | 調査研究費 | 研修費 | 会議費 | 資料作成費 | 資料購入費 | 広報費 | 事務費 | 合 計 | | |
| 與那覇徳雄 | 112,190 | 83,578 | | | 11,800 | | | 207,568 | 180,000 | 0 |
| 知花 徳栄 | | | | | | | | 0 | 180,000 | 180,000 |
| 新城 昭彦 | 241,990 | | | | | | | 241,990 | 180,000 | 0 |
| 山内 政徳 | 190,080 | 6,000 | | | | | | 196,080 | 180,000 | 0 |
| 仲宗根盛良 | 5,902 | 160,396 | | 580 | 6,950 | | 29,849 | 203,677 | 180,000 | 0 |
| 仲 眞 朝 雄 | 83,010 | 204,698 | | | | | | 287,708 | 180,000 | 0 |
| 新垣 修幸 | 110,080 | 6,000 | | | | | | 116,080 | 180,000 | 63,920 |
| 當間 良史 | 180,820 | 6,000 | | | | | | 186,820 | 180,000 | 0 |
| 比 嘉 幸 雄 | 110,080 | 140,650 | | | | | | 250,730 | 180,000 | 0 |
| 津波古菊江 | 104,683 | | | | 14,962 | | 2,274 | 121,919 | 180,000 | 58,081 |
| 上地利枝子 | 169,780 | | | | 9,024 | | | 178,804 | 180,000 | 1,196 |
| 上 地 栄 | 198,003 | | | | | 31,000 | | 229,003 | 180,000 | 0 |
| 伊佐 眞武 | 104,683 | | | | 10,024 | | | 114,707 | 180,000 | 65,293 |
| 長浜 宗則 | 203,460 | 6,000 | | | | | | 209,460 | 180,000 | 0 |
| 神谷嘉栄 | 221,996 | | | | | | | 221,996 | 180,000 | 0 |
| 城間 勇 | 93,380 | | | | | | | 93,380 | 90,000 | 0 |
| 伊波 篤 | | 183,112 | | | 10,000 | | | 193,112 | 180,000 | 0 |
| 計 | 2,130,137 | 796,434 | 0 | 580 | 62,760 | 31,000 | 32,123 | 3,053,034 | 2,970,000 | 368,490 |

※交付総額より合計額が多い分は自己負担としています。

政務活動費による活動報告

(平成28年4月～平成29年3月)

| 日付 | 参加者 | 研修地 | 研修内容 |
|-------------|--------------------------------|-------------------------|--|
| 平成28年 5月 | 新城昭彦 仲眞朝雄 比嘉幸雄 神谷嘉栄 | 滋賀県大津市全国市町村研 修所 | 新人議員のための地方自治基本コース |
| 5月 | 仲宗根盛良 | 福岡県博多区 | 地域包括ケア特別講習 |
| 7月 | 伊波篤 | 福岡県博多区 | 議会改革の実践手法と課題について |
| 7月 | 山内政徳 | 滋賀県大津市 | 生活困窮者自立促進支援モデル事業など |
| 9月 | 與那覇徳雄 仲眞朝雄 當間良史 | 長野県南佐久郡川上村 | 日本一のレタスの産地川上村の取 り組みについて |
| 10月 | 與那覇徳雄 新城昭彦 仲眞朝雄 神谷嘉栄 | 滋賀県大津市全国市町村研 修所 | 住民自治と観光戦略について |
| 10月 | 仲宗根盛良 新城昭彦 | 福岡県粕屋町 | 議会基本条例と議会報告会の現状 についてなど |
| 10月 | 伊波篤 | 愛知県名古屋市 | 公民の役割の変化と連携・住民代表 の議員、議会の役割について |
| 10月 | 新垣修幸 長濱宗則 山内政徳 比嘉幸雄 當間良史 | 島根県隠岐の島海士町およ び鳥取県米子市 | 海士町の地域再生事業と地域ブラ ンドの取り組み・米子市のふるさと 納税の取り組みについて |
| 11月 | 伊佐眞武 上地利枝子 津波古菊枝 上地榮 | 石川県輪島市・石川市 富山県富山市 | 輪島市の朝市と伝統工芸の取り組 みおよび富山県のデイサービスの 取り組み |
| 平成29年1月 | 與那覇徳雄 仲眞朝雄 | 沖縄県久米島町 | 久米島シーサイドパークゴルフ場 視察 |
| 2月 | 城間勇 長濱宗則 上地榮 | 山口県宇部市 広島県呉市 | 病児病後児保育の取り組み 大和ミュージアム視察研修 |
| 2月 | 上地利枝子 | 鹿児島県鹿屋市串良町 | 土着菌を活用した地域おこしにつ いて |



広大な土地で日本一のレタスを作る長野県川上村



活気ある石川県輪島の朝市の風景

受け継がれる ゆいまーるの理念 (喜名福寿会)

「ゆいまーる共生事業」は、それぞれの行政区に住む老人クラブ活動に参加できない高齢者などの要援護者に対し、字公民館を拠点として、ふれあいサロン事業を行い、地域住民の福祉健康増進に寄与することを目的としています。

いわば、地域の高齢者を対象としてミニデイサービスを運営するのは地域のボランティアグループ。

現在のグループで一〇九八名の利用があり、その活動を支えるボランティアの数は72名にのぼる。

各共生事業へは、村が年間の活動費及び字公民館使用料・傷害保険料送迎費を助成している。その村の推進する「ゆいまーる共生事業」のモデルとなったのが喜名地区の取り組みである。活動のスタートは平成元年、当時の読谷村社会福祉議会事務局長の働きかけで、地域の民生委員らを中心に「水曜会」を結成し、毎週水曜日に老人クラブに参加できなかった高齢者を招いてレクリエーションを中心として居場所づくりの活動を行ったのが始まりである。その後「喜名福寿会」と改称、組織基盤を強化した。参加者も増え、月2回の開催となり自治会の協力もあつて活

動内容も充実し、定着した活動となった。

こうした事例をモデルに、公民館型ミニデイサービスが村内に広がり、読谷村「ゆいまーる共生事業」として全字で開催されている。やがては県内、県外各地へと波及していくなど、これまで総務省社会参加章、厚生労働大臣表彰などを受け、その活動は内外から高く評価されている。

さて、その「喜名福寿会」は来年、活動し始めてから30年目を迎える。4月から新会長として会の活動を支えている「喜名福寿会」会長 宇根良雄さんは、字、村行政を含め、地域ぐるみで活動を支えていることを大きな強みとして挙げた。古くから地域活動の活発な喜名自治会には、年代別に子ども会、青年会、婦人会、成人会、協友会、老人クラブといった団体があり、それぞれが活発である。喜名福寿会もそれらの団体の一つとして公民館の使用や活動費の助成など自治会のバックアップは大きな支えだ。今後は、男性の活動への参加促進、ボランティアの裾野を広げていくことを目標にさらに活動の充実を図る。

これからも地域ぐるみで取り組み、

地域の中で共に支え合う、ゆいまーるの理念を生かしていきたい。その精神は世代を超えて受け継がれてゆくものだと思う。

活動を語る
宇根良雄 会長



地元の有志による
差し入れ野菜を活用

りっかりっか読谷村議会

3月定例会での傍聴者は、延べ70名でした。

平成29年6月定例議会は6月13日(火)から21日(水)まで開会予定。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス
<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉
議会事務局 TEL 098-982-9225